

「幌延深地層研究計画 令和 8 年度調査研究計画」
札幌説明会 挨拶

令和 8 年 4 月 20 日
幌延深地層研究センター所長 舘 幸男

- 幌延深地層研究センター所長を務めます舘と申します。4 月から所長を拝命いたしました。どうぞ宜しくお願いいたします。
- 本日はお忙しい中、「幌延深地層研究計画 令和 8 年度調査研究計画」の説明会に足をお運びいただきまして、誠にありがとうございます。
- まずは、常日頃より当機構の業務につきまして、ご支援・ご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。
- 2001 年から研究を開始して今年で 25 年になり、地下施設も、本年 1 月に無事故・無災害で深度 500m 調査坑道の整備が完了いたしました。これもひとえに、幌延町の皆様をはじめとした北海道民の皆様の皆様のご支援・ご協力の賜物と深く感謝いたしております。
- 今年度は、整備が完了した深度 500m での調査・試験をさらに本格的に進めてまいります。また、深度 350m 調査坑道で 11 年以上の長期間継続してきた人工バリア性能確認試験につきまして、地下に埋めた人工バリアや埋め戻し材を取り出し、その状態を確認する解体試験を実施いたします。本日は、令和 7 年度の成果概要を含め、令和 8 年度の調査研究計画についてご説明させていただきます。また、本日の説明は入社 2 年目の職員が、できるだけ分かりやすくご説明させていただきます。
- 私どもが研究開発を進める上では、幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「最終処分場にはしない」、「研究が終わったら地下の施設は埋め戻す」といった約束をしっかりと守りながら、着実に調査研究を進めてまいります。
- それでは、令和 8 年度の調査研究計画についてご説明をさせていただきましますので、忌憚のないご意見等いただければと思います。

以 上